

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期大和郡山市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県大和郡山市

3 地域再生計画の区域

奈良県大和郡山市の全域

4 地域再生計画の目標

本市では昭和工業団地の整備や矢田丘陵の住宅地開発などにより平成7（1995）年まで人口が増加し（最大人口95,165人）、その後減少に転じています。住民基本台帳によると令和7（2025）年11月の総人口は81,839人となっています。

本市の年齢3区分別の人口の推移をみると、令和2（2020）年まで65歳以上の高齢者数が急速に増加を続けています。15～64歳の生産年齢人口は、総人口と同様に平成7（1995）年に68,023人とピークを迎えました。その後、現在は総人口を上回るペースで減少が続いており、令和2（2020）年には45,680人となっています。15歳未満の年少人口についても減少傾向にあり、令和2（2020）年には9,044人となっています。

本市の自然増減は一貫して減少傾向にあります（令和6（2025）年には776人の自然減）。なお、合計特殊出生率については各年ともに全国平均よりわずかに低く、概ね県平均と同様の傾向を示しており、平成30～令和2（2018～2022）年の平均で1.30となっています。

また、社会増減は「転出超過」幅が改善され、令和5（2023）年には転出者（2,423人）が転入者（2,461人）を上回る社会増となっており、令和6（2024）年についても60人の社会増となっています。

さらに、将来人口推計について、国立社会保障・人口問題研究所における推計に準拠した場合、総人口は令和2（2022）年の83,285人から令和42（2060）年には

44,492人へと減少していくことが見込まれます。

人口減少、少子高齢化が進む中、出生率の上昇はなかなか見込めないことから、若い世代の転入促進、転出抑制につながる施策を展開することで人口減少を抑制し人口問題に対する先を見据えた的確な対応が必要です。

これらの課題に対応するため、本計画において次の4つの基本目標を掲げ、人口減少に歯止めをかけるべく、継続的な取り組みを行います。

- ・基本目標1 雇用を生み出す環境を整備する
- ・基本目標2 新たな人の流れや交流を促進する
- ・基本目標3 子育て、子育てを応援する
- ・基本目標4 安全・安心で暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	市内従業者数	40,758人	40,000人	基本目標1
イ	社会増減数	2020～2024年平均 -31人	2026～2030年平均 ±0人	基本目標2
ウ	これからもこどもに大 和郡山市で育ってほし いと思う保護者の割合	就学前児童66.2% 小学生児童68.8%	就学前児童76.0% 小学生児童79.0%	基本目標3
エ	これからも大和郡山市 に住んでいたいと思う 市民の割合	70.9%	75%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期大和郡山市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 雇用を生み出す環境を整備する事業

イ 新たな人の流れや交流を促進する事業

ウ 子育て、子育てを応援する事業

エ 安全・安心で暮らしやすいまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 雇用を生み出す環境を整備する事業

時代に即した多様な働き方をはじめ、市内の各種産業の既存事業の経営安定化や人材の確保、事業承継等を支援します。

また、中心市街地などにおいて新たに事業を起こす起業家のチャレンジや、若い世代が魅力的に感じる業種の起業・創業の支援に取り組むとともに、農業振興に努めます。

【具体的な事業】

- ・企業立地の促進
- ・誘致企業における雇用促進への助成
- ・経営相談窓口の開設
- ・人材育成支援
- ・異業種交流による販路拡大の支援
- ・産官学の連携強化
- ・リノベーションまちづくり
- ・新規就農者への支援
- ・農産物販路拡大の支援
- ・地域計画の作成支援

等

イ 新たな人の流れや交流を促進する事業

本市の特性である歴史や文化に根付いた地域資源の活用と新たな賑わいを創出することで、まちのブランドイメージの向上を図り、移住・交流・関係人口の拡大につなげます。

【具体的な事業】

- ・商店街での活性化イベントへの支援
- ・商店街の空き店舗対策の検討
- ・商店街のブランドイメージの再構築支援
- ・金魚が泳ぐまちづくり事業
- ・郡山城跡を活かしたまちづくり事業
- ・地域ブランド創出事業
- ・街なみ環境整備事業
- ・NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機とした誘客促進
- ・リニア中央新幹線中間駅設置の提案
- ・観光振興賑わい創出事業
- ・移住・定住につながる情報発信
- ・ふるさと納税の推進
- ・企業版ふるさと納税の推進 等

ウ 子育て、子育てを応援する事業

地域、家庭、企業、行政の連携と役割分担により、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に取り組むとともに、地域の特色ある教育環境をより一層充実・展開し、子育てしたい憧れのまちをめざします。

【具体的な事業】

- ・放課後児童健全育成事業
- ・ヤングケアラーの支援
- ・妊婦及び乳幼児健康診査
- ・産前産後支援事業（妊婦及び乳幼児への訪問指導）の充実
- ・健康教育（ママパパクラス、子育て教室等）の充実
- ・スクールカウンセラーの配置
- ・ALT（外国語指導助手）の配置による英語教育の充実
- ・分教室「ASU」等による不登校対策の充実
- ・学校給食における地産地消の推進
- ・小中学校施設整備大規模改修事業
- ・通学路安全対策事業

・学ぶ力を育てる教育環境の充実

・移住・就業・起業支援事業

等

エ 安全・安心で暮らしやすいまちをつくる事業

交通事業者と連携した公共交通を整備し、誰もが暮らしやすい環境を構築するとともに、防災・減災、防犯体制の充実による安全・安心のまちづくりを進めます。

また、公共施設を適切に維持・管理するとともに、持続可能な行政運営に努めます。

【具体的な事業】

・近鉄郡山駅及び近鉄平端駅周辺地区におけるまちづくりの推進

・都市計画道路整備等事業

・デマンドタクシー

・交通安全施設等整備事業

・コミュニティバス運行事業

・駅周辺の歩道のバリアフリー化

・防犯カメラ設置の推進

・防災コンテナ、備蓄品等の充実

・河川整備事業（市内一円及び特定排水路の維持補修及び浚渫工事等）

・都市公園長寿命化事業

・下水道管路施設及びポンプ場施設改築事業

・電子申請システムの拡充

等

※なお、詳細については第3期大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

200,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に外部有識者を含む「大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定す

る。検証後速やかに大和郡山市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで